## 定額減税補足給付金（調整給付金）を支給します

■住民課住民税係☎(64)8312

令和６年分の所得税と令和６年度分の個人住民税において、定額減税が実施されます。

給与の天引きなどで納付する税額を差し引く方法で行われていますが、その中で減税しきれないと見込まれる人にその差額を支給します。対象者には、８月中に通知します。

**▼対象者**

令和６年１月１日時点で町に住所があり、定額減税の対象者で、定額減税可能額が令和６年分推計所得税額または令和６年度分個人住民税所得割額を上回る人

ただし、納税義務者本人の年間の合計所得金額が１８０５万円以下の場合に限ります。

※定額減税前の課税が住民税非課税または住民税均等割のみの人は対象外です。

**▼減税対象人数**

納税義務者本人および扶養親族（控除対象配偶者および16歳未満の扶養親族を含む）の人数です。なお、国外居住者は除きます。

| 税　別 | 所得税分 | 個人住民税分 |
|---|---|---|
| 定額減税可能額 | ３万円×減税対象人数（A） | １万円×減税対象人数（B） |
| 支給額 | （A）定額減税可能額<br>−令和６年分推計所得税額＝❶<br>※令和５年分所得などを基に推計 | （B）定額減税可能額<br>−令和６年度分個人住民税所得割額＝❷ |
| | 支給額は、❶所得税分と❷個人住民税分の合計金額<br>（合計金額を１万円単位に切り上げ） | |

**▼支給方法**

●「マイナポータルによる公金受取口座」の登録をしている人

「調整給付金支給のお知らせ」を送付します。記載されている振込先口座への支給に問題がなければ、手続きは必要ありません。

●「公金受取口座」の登録がない人

「調整給付金支給確認書」を送付します。10月31日㈭までに申請をしてください。

### 給付金をかたった詐欺に注意！

「定額減税補足給付金の支給」に関し、役場の職員が電話などでATMの操作をお願いすることや手数料の振込みを求めること、キャッシュカードの暗証番号を聞くことは、絶対にありません。

不審な電話を受けた際は「警察相談専用電話（☎＃9110）」に電話するか、富岡警察署（☎62−0110）へご相談ください。

## 熱中症に注意しましょう

危険な暑さが予想される場合に、熱さへの「気付き」を促し、熱中症への警戒を呼び掛ける「熱中症警戒アラート」が発表されます。

令和６年からは、一段上の「熱中症特別警戒アラート」の運用も始まりました。

※「熱中症警戒アラート」などは環境省「熱中症予防情報サイト」で確認できます→

### 「熱中症警戒アラート」「熱中症特別警戒アラート」が発表されたら…

- できるだけ外出は控え、暑さを避けましょう
- 高齢者や子どもなど熱中症のリスクが高い人に声かけをしましょう
- 昼夜を問わずエアコンを適切に使用しましょう
- こまめに水分・塩分を補給しましょう
- 外での運動は、原則、中止や延期をしましょう

# ニカラグアへ寄贈した消防車の引き渡し式

■企画課企画調整係☎(74)3133

## 異国の地で新たな使命を担い、走り続ける消防車

町からニカラグアのエル・ロサリオ市へ寄贈した消防車の引き渡し式が6月19日、役場会議室と現地をオンラインでつなぎ行われました。

この取り組みは、東京オリンピック・パラリンピックでホストタウンになったニカラグアへ町使節団が訪問した際、同市内での消防車の不足を知ったことがきっかけで計画が動き出しました。そして、在ニカラグア日本国大使館や(一社)日本外交協会などの協力のもと「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を活用し消防車を左ハンドルなどに改造して、今年1月に町から送り出していました。

茂原前町長は「消防車が住民の安全と安心を守り、防災活動に大きく貢献することを期待するとともに、今後もニカラグア共和国との友好関係を深めていきたい」とあいさつしました。

モニター画面

モニター越しに式典を見守る町関係者

在ニカラグア日本国大使館・中村和人特命全権大使によるテープカット(エル・ロサリオ市)

# オーガニック推進協議会の取り組み

■産業課農林係☎(64)8319

## 多面的なイベントを通じ有機農業・有機農産物への理解を深める

町オーガニック推進協議会では、持続可能な農業の振興や食と農の活性化を通じた魅力あふれるまちづくりを目指し、さまざまな取り組みを展開しています。

「有機野菜を使ったピザづくり教室」が6月26日、甘楽ふるさと館で開催され、甘楽町都市農村交流協会職員指導のもと、6人の参加者が町内産のズッキーニやトマト、バジルなどの有機野菜を使ったピザづくりに挑戦しました。

7月6日には、甘楽ふるさと農園で「有機栽培じゃがいもの収穫体験」が行われました。町内外から36人が参加し、同農園管理人から指導を受けて、農薬と化学肥料を使用せず栽培したジャガイモを掘り起こして収穫を楽しみました。収穫後には、ふかしたジャガイモを試食し、旬のおいしさを味わいました。

7月16日には、有機農業産地づくり推進事業講演会がら・ら・かんらで開催されました。伝統農法文化研究所主宰・農学博士の木嶋利男さんを講師に迎え「コンパニオンプランツと裏ワザ」と題した講演に約60人が参加しました。参加者は連作や輪作の有効性、混植に向く野菜など、農薬・化学肥料に頼らない技を学びました。

土と触れ合い、収穫の喜びを体感

役立つ情報に耳を傾ける参加者

# 「自家栽培の野菜でおいしいキムチの製造販売を」

髙(こう) 勝保(すんぼ) 隊員

昨年の６月から地域おこし協力隊として活動している髙です。生まれ親しんだ大阪を離れ不安もありましたが、地域の皆さんに大変良くしていただき無事に一年目を終えることができました。

大阪ではキムチ屋を営み、将来は自分で栽培した唐辛子やニンニクを使った商品を作りたいという想いから畑を借りて独学で試行錯誤していました。希望する広さの畑を借りられないことなどに苦慮していたところ見つけたのが町の地域おこし協力隊の募集でした。

現在は、オーガニックビレッジの取り組みの一環で有機栽培するオリーブの圃場管理の手伝いをしながら、有機野菜を栽培し新規就農を目指しています。

初めのうちは、ふるさと農園で草刈機や耕運機、トラクターなどの操作方法や畑の管理方法など農業の基礎を約３００㎡の区画で実践しながら学びました。

有機野菜の生育状況をチェック

農業研修では、多くのご縁をいただき、造石の米農家で水田管理や収穫・脱穀作業を、秋畑のサツマイモ農家では中山間地の斜面での野菜栽培の難しさや干し芋作りを体験しました。有機農家の皆さんのもとでは自然や植物を相手にする難しさ、そして農家としての心意気などを日々学ばせていただいています。他にも養蚕農家では桑葉採取(しゅうけん)や桑葉やり、上蔟(じょうぞく)※、収繭(繭(まぶし)を蔟から外すこと)を経験し、町の皆さんがかつて営まれていた養蚕について少しではありますが触れることができ、大変うれしく思っています。

この1年間を振り返り、甘楽町でさまざまな経験をさせていただき町のことについて深く知ることができました。携わってくれた多くの皆さんには改めて感謝しています。2年目は目標達成に向けて一層気を引き締めて活動していきたいと思いますので、今後もよろしくお願いします。

※「上蔟(じょうぞく)」…蚕(かいこ)が繭(まぶし)となるための蔟(繭づくり専用の器具)へ蚕を移す作業

---

家庭でも みんなで語ろう 交通ルール

## 夏の県民交通安全運動

### 取り組みました

反射材が配布され、夜間外出時の注意点などの説明を受ける第１区おたっしゃ会の皆さん

７月16日、第１区住民センターに集まったおたっしゃ会参加者を対象に「高齢者交通安全教室」を実施しました。このほか、町内各地で交通安全協会、交通指導員、富岡警察署の皆さんが交通ルールの順守を呼び掛けました。

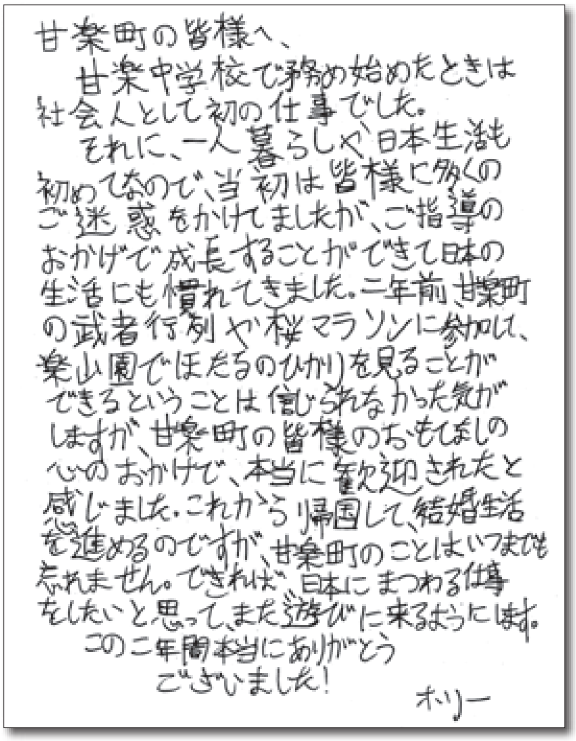
# ありがとう! お元気で　ホリー先生

■ 問い合わせ　教育課学校教育係 ☎64-8323

イギリス出身で、ＡＬＴ(外国語指導助手)のホリー・ワルダさんが７月で退任しました。ホリーさんは約２年間、町内の小中学校などで英語を指導し町の英語教育の充実に努められました。そして、町のさまざまな行事にも積極的に参加しました。

退任にあたり、町民の皆さんへのメッセージと思い出の写真を紹介します。

ホリー・ワルダさん



甘楽町の皆様へ、
甘楽中学校で務め始めたときは社会人として初の仕事でした。
それに、一人暮らしや日本生活も初めてなので、当初は皆様に多くのご迷惑をかけてましたが、ご指導のおかげで成長することができて日本の生活にも慣れてきました。二年前、甘楽町の武者行列や桜マラソンに参加した、楽山園でほたるのひかりを見ることができるということは信じられなかった気がしますが、甘楽町の皆様のおもてなしの心のおかげで、本当に歓迎されたと感じました。これから帰国して、結婚生活を進めるのですが、甘楽町のことはいつまでも忘れません。できれば、日本にまつわる仕事をしたいと思って、また遊びに来るようにします。
この二年間本当にありがとうございました!
ホリー

～ ホリー先生との思い出 ～

小幡小学校

甘楽中学校

武者行列

さくらマラソン大会
２年連続出場♪

国交振主催の
書道教室に参加

好きな日本食は
うな丼と
きな粉団子

**今後の予定は…**

「来日前に結婚したパートナーと挙式し、イギリスで生活を送る予定です」